

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

C

男子・女子 回戦 準々決勝・準決勝・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
洛北高等学校	<u>35</u>	[	19 — 9 16 — 11 — — — 7mTC	横浜創学館高等学校
		]	<u>20</u>	

ベスト4進出を賭けた一戦は12年連続出場の府立洛北と出場28回を数える横浜創学館の対戦。

横浜創学館のスローオフで試合開始。互いに2点連取しあうスタートとなり前半半ばまではスコアは均衡していたが、13分過ぎから洛北は6番柳、7番福田が確実にシュートを決めるなど5連続得点で試合の流れをつかんだ。20分過ぎからは洛北2番林のミドルが効果的に決まりだし、横浜創学館も必死で反撃を行うが、洛北GKの安定したセーブもあって、点差はさらに広がり前半は19-9と10点の差がついて折り返した。後半に入り、横浜創学館は5分過ぎに7人攻撃に出るなど、粘り強く反撃を試みるが、洛北の守備は固く簡単には点が取れない。逆に余裕がでた洛北は堅守からの速攻やスカイプレーなどを織り交ぜた攻撃で着実に加点し、後半27分には33-18とこの日最大となる15点の差がついた。結局最後まで足を止めず、積極的なディフェンスを貫徹した洛北が、35-20の15点差で勝利し、近畿勢としてはただ1校、明日の準決勝へコマを進めた。

2017年 3月 27日

記載者氏名 潮海 克郎

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

d

男子・女子 回戦 準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
北陸高等学校	36	17	12	藤代紫水高等学校
		19	14	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

北信越チャンピオンの北陸高校に対して今大会ノーシードで勝ち上がってきた藤代紫水の一戦が開始された。北陸のスローオフで試合がスタートし、開始早々から両チームシュートを放つも両ゴールキーパーの好セーブで暫く無得点が続く。均衡を破ったのは北陸で、13番、9番、11番と3連続シュートが決まる。6分になって藤代も6番のサイドシュートでようやく1点目を決める。北陸の反則で藤代は同点に追いつくが、藤代は中盤に反則をして退場者が出た所を北陸は見逃すことなく加点していく。北陸も退場者を出す、多彩な攻撃で着実に点をとって差を広げ、17対12で前半をリードして終える。後半開始早々、藤代の14番のシュートが決まって点差を縮めるが、北陸もさすが点を取り、一進一退の試合展開となる。5分頃から北陸の攻撃にエンジンが掛かってきて藤代を突き放しにかかる。藤代も中盤にかけて必死に追いつがるもなかなか追いつけない展開に焦りが見え始め、北陸の多彩な攻撃にDFがついていけず、逆に北陸の9番に連続ロングシュートなどを決められ差が広がる。36対26で北陸は勝利し、一昨年優勝して以来の2年ぶりのベスト4進出である。

2017年 3月 27日

記載者氏名 山名 政夫